

東京音楽大学

TCM

器楽専攻

管楽器 フルート 教授

工藤 重典

退任記念

CONCERT

東京音楽大学 フルート講師陣との共演

2025年 3月29日(土)

18:00 開演 17:30 開場

入場無料・全席自由

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス

TCMホール

主催：東京音楽大学管打部会

第1部

G.フォーレ：コンクールのための小品
C.P.E.バッハ：トリオ ホ長調 Wq.162
L.v.ベートーヴェン (P.タファネル編)：ポロネーズ op.8より
J.M. ルクレール：音楽の愉しみ 第2番 op.8
P.M.デュボア：フルート四重奏曲

共演

甲斐雅之
(フルート)

神田勇哉
(フルート&バスフルート)

中野真理
(フルート)

前田綾子
(フルート)

山内豊瑞
(フルート)

成田有花
(ピアノ&チェンバロ)

第2部

F.ドゥヴィエンヌ：トリオ 八長調 n.4
矢代秋雄：2本のフルートとピアノのためのソナタ
L.v.ベートーヴェン：アレグロとメヌエット
H.ベルリオーズ：キリストの幼時よりトリオ
F.ショパン (P.タファネル編)：ワルツ 第6番 op.64-1
F.ドップラー：シューベルトの主題によるコンサート・バラフレーズ op.18
F.クーラウ：トリオ ト短調 op.13-2
J.B. ボアモルティエ：5声部のための協奏曲 二長調 op.15-3

工藤 重典 Shigenori KUDO

札幌生まれ。桐朋学園を経てパリ国立高等音楽院を1979年に一等賞で卒業。

1978年、第2回パリ国際フルートコンクールにて第1位。また1979年ミュンヘン国際コンクールフルート部門で第3位(1位なし)、ラ・ロッシュェル国際現代音楽コンクールで第3位、そして1980年、第1回JPランパル国際フルートコンクールで優勝。

パリのシャンゼリゼ劇場、サルブレイエール、ウィーンの楽友会大ホール、ミラノ・スカラ座、ニューヨークのリンカーンセンター、モスクワのチャイコフスキー音楽院ホール、ミュンヘンのヘラクレスザール、東京サントリーホール、台北国家戯劇院、ソウル芸術の殿堂、上海及び北京音楽学院コンサートホールなどヨーロッパ、オセアニア、アフリカ、アメリカ大陸、アジアなど世界の舞台上でソリストとして演奏してきた。

チューリッヒ・トリオ、パスキエ・トリオ、オランダカルテット、クロード・ボリング、ジェシー・ノーマン、ヴィクトリア・デ・ロスアンヘレス、またパイヤール室内管弦楽団、パリ室内管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、イギリス室内管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、イ・ソリスト・ベネティ、モスクワ・ヴィルトゥオーソ、ザルツブルクモーツァルテウム管弦楽団、NHK交響楽団などと共演した。

ディスコグラフィはマイスターミュージック、ソニークラシカル、仏エラート、JVC、フォンテック、ナクソスレーベルなど十数社からリリースされ、80タイトルを超える。若杉弘、秋山和慶、岩城宏之、井上道義、小澤征爾、外山雄三、尾高忠明、佐渡裕、またJ.Pランパル、M.ロストロポーヴィチ、K.ペンデレツキ、J.Fパイヤール、ネヴィル・マリナー、ホルスト・シュタイン、S.ゴールドベルク、A.ドミトリーエフ、レナード・スラットキン、ハンス・ツェンダー、レオポルド・ハーガー、ピエール・デルヴォー、ピエタリ・インキネンなどの名だたる指揮者と60曲以上のフルート協奏曲を演奏してきた。

92年よりサイトウキネン・オーケストラと水戸室内管弦楽団で首席奏者、オーケストラ・アンサンブル金沢で特任首席奏者を歴任。

東京音楽大学で2006年度より大学院客員教授として、2010年度より教授(フルート)として現在に至る。他、昭和音楽大学客員教授、パリ・エコールノルマルのフルート科教授として後進の指導にもあたっている。

文化庁芸術祭賞、京都芸術祭賞、村松賞、仏オベルネ名誉市民賞などの受賞の他、2024年イタリアフルート協会より「洗練された演奏、マルセイユ学派の輝かしいフルート主義の伝統の相続人、彼の芸術で最初にフランス、そして全世界を魅了した」として生涯功労賞を受賞した。

会場案内

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス TCMホール

東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩4分
※会場へは公共交通機関をご利用ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>
満席の場合、入場をお断りする場合がございます



問い合わせ先 rcon@tokyo-ondai.ac.jp